

「赤ちゃんの駅」設置事業

自治体情報 兵庫県三田市
人口 / 113,821人 標準財政規模 / 22,569百万円

担当課 健康福祉部こども局こども政策課
電話番号 直通 079-559-5079
実施主体 三田市
関連ホームページ <http://www.city.sanda.lg.jp/kodomo/ai-baby-station.html>
事業期間 平成23年度から
関係施策分類

予算関連データ

総事業費：3,965千円

名称	所管	金額(千円)
地域子育て創生事業	厚生労働省	3,965

施策のポイント

授乳やおむつ交換ができるスペース「赤ちゃんの駅」を整備し、子育て家庭が安心して外出ができる環境づくりを進める。また、公募によるロゴマーク作成、民間施設の登録を進め、社会全体で子育てを支援する気運を高める。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

乳幼児をもつ家庭が安心して外出できる環境の整備と、親子が楽しく過ごせる機会を増やすことにより、子育て中の母親の孤立を防ぎ子育てにやさしいまちづくりを推進する。そのため、外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換等ができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、その所在を広く周知するとともに設置を促すことにより、安心して外出できる環境づくりを推進していくことを目的とする。

2. 取組の具体的内容

- ・授乳設備を整えていない市民センター等の公共施設6か所に、授乳とおむつ交換ができるスペースを整備した。
- ・「赤ちゃんの駅」が広く市民に認知され、親しまれるスペースとなるよう、市独自でロゴマークを作成した。ロゴマークデザインは広く募集し、その結果全国から28人、37作品が集まった。書類選考等で6作品を選定し、市内在住・在勤・在学者による投票で最多得票の作品を採用した。
- ・ショッピングセンター、飲食店など子育て中の家庭がよく利用する施設で、授乳とおむつ交換の両方又は一方ができる設備を有する民間施設に働きかけ、「赤ちゃんの駅」として登録を進めた。
- ・今後、市公式ホームページや子育て関連の刊行物に、「赤ちゃんの駅」登録施設の情報を市民に提供していく。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・「赤ちゃんの駅」を整備することで、そうした施設の必要性や子育て家庭への認識が深まり、また、商業施設等では必要性を理解し施設の整備が進むことが期待されるなど、子育てのしやすいまちの推進につながる想定された。

4. 現在までの実績・成果

- ・公共施設については、今回6か所整備したことで、今後大規模改修予定の施設や都市公園等を除いて整備済みとなった。未整備施設についても、今後その設置について検討していく。
- ・ロゴマークデザインは、小学生から子育て中の保護者、シニア世代まで幅広い層からの応募があった。また、作品を選定し、市内在住・在勤・在学者による投票を行ったことで、「赤ちゃんの駅」への関心、認知度を高めることができた。
- ・整備した赤ちゃんの駅では、「こうしたスペースがあり助かりました」などの意見をいただいた。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

- ・「赤ちゃんの駅」整備にあたっては、子育て関連施設の職員や子育て中の保護者の意見なども参考に、設置場所や備品の選定を行った。
- ・ロゴマーク作成にあたっては教育関連施設との連携を図り、技術的な支援を市内の美術専門学校に協力を要請した。また、同学校の生徒からも多数の作品の応募があった。
- ・民間施設の登録では、実際に施設を見て回り、授乳やおむつ交換ができる設備を有する施設には積極的に登録を呼びかけ、登録施設の増加に努めた。

6. 今後の課題と展開

- ・「赤ちゃんの駅」登録施設増加のため、登録によるメリットをもっとアピールする必要がある。また、施設整備に対する補助制度も検討する必要がある。
- ・登録した施設の情報を子育て家庭に広く提供し、乳幼児を持つ家庭が安心して外出ができ、また、社会全体で子育てを支援する気運を高めていきたい。